

第96期(平成30年度)東京与論会 会員のつどい

とき 平成30年11月18日(日)

ところ 日本教育会館



与論島航空写真
大金久海岸

百合が浜
百合が浜

♥♥♥ 絆つないで95年 ♥♥♥

東京与論会

与論町民歌

作詞 内 与詩守
作曲 益田 元甫

一、黒潮はるかに 明けわたり
朝日に燃える さんご礁^{しょうご}
自然のめぐみ 拓きつつ^{ひら}
あかるく進む わが与論
ああ この空に この海に
みんなの夢が あふれてる

三、名残りもゆかしい 城の跡
あこがれ寄せる 百合ヶ浜^{ゆりがはま}
昔をしのび 今を知り
心をむすぶ わが与論
ああこの町に この郷^{さと}に
かがやく明日が 待っている^{あす}

二、港に世紀の 声すれば
畑にキビの 茂るうた
玉なす汗も 美しく
ゆたかに伸びる わが与論
ああ この島に この土に
まことの花が 咲き香る



◇ 町章（昭和41年1月1日制定）



丸い輪（和）の中に「与」のダイヤをかたどり、
わが島をたたえ、いやさかえに豊かな島の躍進を
おもう。

◇ 町木：島クロキ（昭和58年指定）



◇ 町木：ガジュマル（昭和59年指定）



◇ 町花：ハイビスカス（昭和58年指定）



与論町人口（H30.9末現在）

所帯数	2603
人口	5265
男	2556 / 女 2709

ごあいさつ

本日は、第96期（平成30年度）東京与論会「会員のつどい」に山町長はじめ、東京奄美郷友会、東十条小学校、会友の皆様においで頂き誠に有難う御座います。

また、先般の佐藤持久顧問の葬儀には大勢の方の参列をいただき有難う御座いました。

本日は西郷隆盛本家直系4代目西郷吉太郎様に曾祖父西郷隆盛の講話を頂きます。テレビで放映されていない話も伺える事と思います。

東京与論会は、会員相互の親睦と互助共栄並びに郷土与論の発展に寄与する、を目的としております。

平成29年12月現在の会員数534名を擁しています。本日は80歳以上の先輩26名を含む123名の会員の皆さんに参加いただきましたが
今後は、より多くの会員が参加してもらえるように役員一同取り組んでいきます。会員の皆様におかれましても友人、親戚の方々にお声掛けをいただきますようお願いいたします。

また、郷土与論の発展に寄与する1つとして、皆様のお配りした資料「ふる里納税」にご協力いただき、本会の目的が、少しでも大きく達成できるよう願います。

最後になりましたが、スタッフ一同、皆様が楽しい、少しでも記憶に残る1日になりますよう用意しております。本日は誠に有難う御座います。

平成30年11月18日
東京与論会会長 山下 清男美

会員のつどいプログラム

(敬称略)

総合司会：幹事長 前田文男

(12:00~13:00)

第一部 トーク

- 郷土遙拝、町民歌斉唱
- 会長挨拶 東京与論会会長 山下清男美
- 祝辞 与論町町長 山 元宗
- 東京奄美会会長 森 真一
- 東十条小学校校長 中村 都士治

- 来賓、会友の御紹介
- 敬老者御紹介
- 講話 演題 曾祖父 西郷隆盛を語る 西郷 吉太郎

プロフィール

昭和 22 年 9 月 東京生まれ
昭和 45 年 3 月 学習院大学卒業
4 月 新日本製鐵(株)入社
平成 11 年 4 月 ネットワンシステムズ(株)入社
平成 13 年 4 月 (株)イージャパン代表取締役社長
ネットワークシステムズ(株)顧問
平成 26 年 9 月 (株)セイビ顧問
(医)メディカルスクエア赤坂顧問

<休憩：10 分間>

第二部 懇親会 (13:10~16:30) (司会 五十嵐千代、元井大次郎)

- 祝舞 かぎやで風(御前風) 永井常誠、竹成代
(地謡) 竹内英健、叶生二、池田信忠、
藤田友子
- 乾杯 全国与論会会長、東京与論会顧問
西田富士夫

- お食事、ご歓談
- 与論献奉の儀 入来武久、吉井清信 青年部
- 余興(演芸)次頁参照
- 万歳三唱 (閉会)

余興(演芸)

演目	出演者
1、(オープニング)エイサー演舞	舞弦鼓(ゆんぬエイサー集団)
2、(琉舞)鳩間節	青井裕子
3、(歌唱)三線の花 他	大馬義明
4、来年の年男、年女大集合	与論中学校 15 期卒業生(来年 73 歳) 与論中学校27期卒業生 (来年還暦) 与論高校 21 期卒業生(来年 49 歳)
5、(歌唱)与論島慕情 他	川畑 智史
6、ラジオ体操(与論方言 ver)	会場全員
7、(歌三線)めでたい節	あおい&さおり(中山青海、深澤砂織)
8、お楽しみ抽選会	(抽選番号はプログラムの表紙に記載)
9、(歌三線)ていんさぐぬ花,他	堀内加奈子
10、新極真会演武	城南川崎支部門下生
11、(舞踊)与論音頭 他	東京与論会 & 東京奄美会女性部
12、(再び)エイサー演舞	舞弦鼓
13、(フィナーレ)カチャーシー	会場全員

* 会場の展示コーナーに 下記の展示がありますので是非ご覧ください。

○ 入来建武～優勝トロフィー ○千代ノ皇～番付、写真

* 懇親会終了後、17:00 より 同会場で二次会を行います。

第96期（平成30年度）会務（中間）報告

自 平成29年11月19日
至 平成30年10月27日

東京与論会 会長 山下清男美
幹事長 前田 文男

（平成29年）

11月19日
12月 9日

第95期東京与論会総会・敬老会
与論・沖洲合同忘年会

日本教育会館
神田正龍

（平成30年）

1月22日
2月11日
3月24日
4月 6日
4月15日
5月 3日
5月13日
5月20日
5月26日
5月27日
5月27日
6月17日
6月17日
6月28日
7月 1日
7月14日
7月15日
7月21日
7月22日
7月29日
8月 4日
8月19日
8月26日
9月 2日
9月 2日
9月 9日
9月16日
9月24日
9月29日
9月30日
10月 7日
10月13日
10月13日
10月21日
10月27日

東京奄美会賀詞交換会
拡大役員会・新年会
東京奄美会役員会
東十条小学校入学式
執行部会
東京瀬戸内会総会・懇親会
東京住用会総会・懇親会
渋谷・鹿児島おほら祭り
東十条小学校運動会
東京沖洲会総会・懇親会
鹿児島与論会総会・懇親会
関東伊仙会総会・懇親会
執行部会
与論3小学校交流懇親会
執行部会
東十条小学校 学校評議委員会
東京奄美会 文化講演会
東京奄美会 役員選考会
東京名瀬会総会・懇親会
拡大役員会・暑気払い
東京奄美会 拡大役員会
関東大和会総会・懇親会
関東徳之島会総会・懇親会
全国与論会
沖縄与論会総会・懇親会
執行部会
東京龍郷会総会・懇親会
関東天城会総会・懇親会
東京奄美会役員会
東京喜界会総会・懇親会
東京笠利会総会・懇親会
東十条小学校 学校評議委員会
関東宇検会総会・懇親会
拡大役員会
東京奄美会臨時役員会

上野精養軒
高田馬場土風炉
品川区立中小企業センター
東十条小学校
高田馬場土風炉
大井町きゅりあん
主婦会館
渋谷道玄坂
東十条小学校
大井町きゅりあん
鹿児島ジェイドガーデン
大井町きゅりあん
高田馬場土風炉
北区立区民会館
大田区蒲田
東十条小学
日本教育会館
小野水道橋ビル
主婦会館
高田馬場土風炉
品川区立中小企業センター
大井町きゅりあん
大井町きゅりあん
琉球サンロイヤル
琉球サンロイヤル
高田馬場土風炉
日本教育会館
大井町きゅりあん
万世橋会館
大井町きゅりあん
主婦会館
東十条小学校
大井町きゅりあん
高田馬場土風炉
万世橋区民会館

第94期(平成29年度) 会計(中間)報告

自 平成29年10月20日
至 平成30年10月18日

収入の部		支出の部	
前期繰越金	1,069,540	総会費用	1,469,057
総会収入	1,282,000	渉外活動費	329,000
支援賛助会支援金	800,000	活動支援費(女性部・青年部)	200,000
広告戻し金	120,000	慶弔費	41,600
受取利息	6	広報広告費(HP運用費他)	244,044
		会議費	6,810
		事務通信費	299,754
		振込手数料	3,764
		次期繰越金	677,517
合計	3,271,546		3,271,546

平成30年 11月18日

東京与論会 会長 山下 清男美

会計長 中山 敏彦

監査(中間)報告

平成29年10月20日から平成30年10月18日までの会計勘定に関する収入及び支出金について帳票及び領収書などにより監査したところ、正確に記録されていたことを認めます。

平成30年11月18日

東京与論会 監査役 池田俊明

同 直野 健次

同 遠山 浩光

ご来賓・会友 ご芳名

(敬称略 順不同)

〈ご来賓〉

〈全国与論会関係〉

与論町町長	山 元宗
関西与論会会長	本園 茂徳
〃 幹事長	岩村 裕子
鹿児島与論会会長	高橋 肇
〃 副会長	坂本 哲郎
沖縄与論会会長	山本 和儀
〃 副会長	武藤愛一郎
中部与論会会長	坂本 勝利
〃 幹事長	沖 孝次

〈東十条小学校関係 等〉

東十条小学校元校長	関口 修司
東十条小学校校長	中村都土治
〃 P T A 会長	伊藤 雅規
西郷隆盛本家直系 4 代目	西郷吉太郎
〃 5 代目	西郷隆太郎

〈奄美郷友会関係〉

東京奄美会顧問	英 辰二郎
〃 参与	小勝 竹雄
〃 参与	藤井 壮望
〃 会長	森 眞一
〃 幹事長	花岡 正美
〃 事務局長	坂井 正道
〃 会計長	千葉 真弓
〃 女性部長	田川ホヅエ
〃 文化部副部長	勝 光重

〈会友の方々〉

東京喜界会顧問	吉岡 茂夫
東京喜界会幹事長	向田 信孝
東京笠利会副会長	里山 洋男
東京龍郷会会長	大野 春義
東京名瀬会会長	川崎 末一
東京住用会顧問	屋島 範光
東京住用会幹事長	井上 雅仁

関東大和会会長	里原 廣光
〃	岩淵 輝美
関東宇検村会会長	前田多都子

東京瀬戸内会副幹事長	石川 幸子
関東徳之島町会幹事長	三浦 雅之
関東天城町会会長	藤原 出
関東伊仙町会会長	岡村 勇
東京沖洲会顧問	福山 博明
東京沖洲会会長	中野 勲
(一社)結の島理事長	今榮 前勝
〃 東京本部	井藤 守仁
〃	内村真希子

〈報道関係〉

南海日日新聞社東京支社長	戸恒 慎司
奄美新聞社東京支局長	永二 優子
〃 東京支局次長	高田 賢一

東京与論会 役員名簿

顧問	竹本 登	監査役	池田 俊明	事務局長	竹村 福孝
〃	山下 心一	〃	直野 健次	副事務局長	黒田しげよ
〃	西田 富士雄	〃	遠山 浩光	女性部長	藤沢 裕子
〃	我謝みどり	会長	山下清男美	同副部長	竹澤くみ子
〃	叶 生二	副会長	林 一男	同副部長	林 真奈美
〃	竹内 英健	〃	山喜 義則	青年部長	供利 優輝
相談役	村田 健	〃	竹内 洋子	副青年部長	久留 誠史
〃	山下 政宏	〃	五十嵐 千代	〃	元井大治郎
〃	竹川 信廣	〃	横山 康明	〃	町 文耶
〃	杉 茂蔵	幹事長	前田 文男	幹事	池田 信忠
〃	本畑 義夫	副幹事長	入来 武久	〃	喜島 春樹
〃	阿多 永恵	〃	佐藤 一英	〃	竹澤 賢司
〃	富堀 行隆	〃	久 富則	〃	仁禮 善美
〃	福納 敏郎	会計長	中山 敏彦	〃	光 一彦
〃	野口 弘明	副会計長	白石 敬一郎	〃	牧園 徳孝
〃	青島 ウメ	〃	吉井 清信	〃	益田 俊弘
〃	和泉 孝位	〃		〃	松村 博文
〃	永井 常誠	〃		〃	

東京与論会支援賛助会

第95期平成29年度 支援状況（中間）報告

会員の多くの方々より東京与論会支援賛助会の趣旨にご賛同を賜り、誠にありがとうございます。おかげさまで、当会も平成12年度発足以来18年経過し、当初目標としておりました会員数100名を超え、29年度末（H30.10）現在123名の方々のご入会をいただいております。

会費収納状況も、今期は述べ97名の方々からご支援を賜り、おかげをもちまして昨年度に続き80万円を支援金として拠出することが出来ました。その結果、下記のと通りの収支状況となっておりますことをご報告いたします。

会員の方々のご芳名を記し、支援状況（中間）報告とさせていただきます。

平成30年11月18日

東京与論会 会長

山下清男美

東京与論会 支援賛助会事務局

竹村 福孝

（記）

平成29年度 東京与論会支援賛助会

収 支 計 算 書

（平成29年10月20日～平成30年10月13日）

○ 収 入		1,117,491 円
1. 28年度よりの繰越金	107,491 円	
2. 29年度会費収入（97口）	1,010,000 円	
○ 支 出		1,117,491 円
1. 東京与論会へ拠出（29年度活動支援分）	800,000 円	
2. 事務経費（29年度分）	13,186 円	
3. 次年度支援資金として留保	304,305 円	

会員ご芳名（全123名）印は29年度新規入会者、（ ）は逝去者 敬称略50音順
 青島ウメ、青山湛子、阿多照夫、五十嵐千代、池田俊明、池田信忠、池畑健志、池畑寿哲、井坂好文、石井登喜子、和泉孝位、板橋伸三郎、市来一彦、伊藤敏久、伊東伯良、入来武久、大内キヌエ、岡崎ミツ子、岡本千恵子、小田和彦、尾張涼子、柿沼富子、我謝みどり、叶実夫、叶生二、叶正雄、叶正義、川上道雄、川田政雄、川田満、川村登志達、黒田泰治、黒田しげよ、坂尻和代、櫻花茂子、佐藤一英、佐藤政明、（佐藤持久）、重村恵美子、白石敬一郎、杉和夫、杉茂蔵、高田良枝、竹博一、竹成代、竹内先安、竹内英健、竹内康良、竹生守雄、竹川信廣、竹澤賢司、竹沢森一郎、竹下賢、竹波栄喜、竹村公助、竹村福孝、竹本登、竹本泰久、竹本隆成、立村恵利、谷口納富、寺床笑美子、遠山浩光、戸田初枝、富幸太郎、富岡行沢、富永恵介、富山永信三、直野健次、永井常誠、永井治雄、中田満、中山敏彦、西田富士雄、仁禮善美、野上登美子、野口弘明、野尻千佐子、林一男、林真奈美、原田照三、原田安雄、光一彦、久富則、平田裕信、福島範子、福納敏郎、藤沢裕子、藤山富美子、堀切智慧子、堀行隆、前田文男、牧園徳孝、益田俊弘、町永純一郎、松栄勝、松栄吉、松村博文、村田健、村田力蔵、本徳仁、基住江里、本畑義夫、本山文雄、山松森、山賀茂弘、山喜義則、山口純子、山下勝利、山下清男美、山下心一、山下美代、山下義弘、山下政宏、山下光子、山路洋子、山田稲繁、山西英二、山村達子、横山康明、吉井龍子、若松可久、渡辺まさ江

現在、支援賛助会未加入者へ入会案内中です！→詳細は最後の頁へ

東京与論会支援賛助会への入会ご案内

■ 支援賛助会とは？

東京与論会の活動に対する財政的支援を目的として平成12年に発足した東京与論会会員による支援組織です。

東京与論会の設立目的及びその活動内容に賛同しご入会して頂いた方々に年会費1万円を納入して頂き、その中から毎年一定額を東京与論会に支援金として拠出しています。(支援目標金額100万円/年)

■ 現在の入会、支援状況は？

会の発足時は、呼びかけ当初ご入会頂いた70余名の入会員でスタートしましたが、その後徐々にご賛同者も増えて参りました。

特に5年前の創立90周年を契機として多くの方々にご入会を賜り、現在123名(10月末現在)までその支援の輪が広がっています。

賛助会会員の皆様方には、引き続きご支援をお願い致しますとともに、改めまして本支援賛助会に未加入の与論会会員の方々に入会のご案内をさせていただきます。

■ お問合せ、ご入会の方法など

支援会事務局にその旨お申し出頂きましたら、さっそくご案内をさせていただきます。

ご入会のご意思を確認後、会費の振り込み用紙を送付いたします。

既にご入会いただいている支援会会員の皆様方には、例年5月前後に年会費の振り込みのご案内をさせて頂いております。

■ お問合せ先

東京与論会 支援賛助会事務局 竹村 福孝 TEL&FAX 046-254-5355

支援額、会員名等につきましては
本プログラム7頁をご覧ください。

支援賛助会のご案内

◆◆東京与論会ホームページ&Facebookページのご案内◆◆

東京与論会HPのURLは下記のとおりです。



<http://tokyo-yoronkai.jp/>



東京与論会でも検索できます。

Facebookページは東京与論会談話室で検索してください。

HP等を活用して発信したい情報を、HP事務局へどしどしお寄せください。

竹本グループ

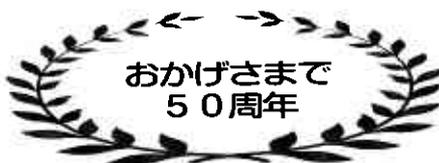
代表取締役 **竹本 登** (与論町古里出身)

クリーニング全般・総合工場
(株) 竹本ランドリー
横浜市鶴見区駒岡2丁目15番地
☎045-574-5747

リネンサプライ全般
(株) ニチエー
川崎市中原区荻宿4-2-25
☎044-435-8191

医療機関・老人介護施設のリネンサプライ
(株) ジュー・ライフ
川崎市中原区荻宿4-3-1
☎044-948-7566

ホームクリーニング全般
(株) トップス
川崎市高津区子母口977
☎044-752-4520



ホームクリーニング全般
(有) 日栄
東京都世田谷区下馬4-2-8
☎03-3424-3464

タオル専門 OEM工場
(株) シナジー
川崎市高津区宇奈根755
☎044-822-8812

特定非営利活動法人
グッド・クリーンライフ
川崎市中原区荻宿4-2-25
☎044-422-9145

カット専門店
(株) 10CLIP
川崎市高津区子母口977
☎044-752-4520

日東商船株式会社

代表取締役

西田 富士雄

◆ 本社 〒105-0013 東京都港区浜松町1-1-10
Tel : 03-5777-1230 FAX : 03-5777-1674
E-mail : info@nitto.ecnet.jp

◆ 館山営業所 〒294-0036 千葉県館山市館山564-1
Tel : 0470-28-5822 FAX : 0470-22-0088
E-mail : nitto_tateyama@yahoo.co.jp

平成30年度東京与論会
「会員のつどい」
発行を心よりお慶び申し上げます!!



ロボットSier企業インタビュー 【経済産業省 関東経済産業局】

Interview

ロボテック株式会社



<http://www.robotech.co.jp/>

ダイカスト周辺機器やロボットシステムの設計・製造・メンテナンスまで、加工以外のすべての工程を受け持つ少数精鋭企業。1995年の創業以来、お客様のニーズに沿ったロボットシステムを全力で研究開発し続け、現在は国内外200社を超える企業と取引を行っている。設計だけでなく、組立・据付・メンテナンスまでを自社で行い、「超振くん」などの独創的な製品も数多く開発。2008年には新機械振興賞の中小企業庁長官賞を授与。



会長 山喜 義則氏

ロボットシステムの開発に全身全霊を捧げる。ロボットシステムエンジニアの異分けた存在。「エンジニアの仕事に終わりはない。常に新しい挑戦が待っている」と、ロボットシステム開発に意欲を燃やし、会席となった今も新たなロボットシステムの誕生に向けて努力を重ねている。

本社 埼玉県越谷市蒲生西町17-18-507
代表者 代表取締役 山喜 秀憲
従業員数 10名
与論工場 株式会社ロボテック
住所 鹿児島県大島郡与論町茶花1891-1
電話番号 0997-97-0010
代表者 代表取締役 山喜 義則
従業員数 5名

事業内容

ダイカスト周辺機器、ロボットシステムメーカーとして、お客様に合わせて様々な周辺機器・ロボットシステムを展開。業務内容は研究開発部門、組み立て据付工事部門、メンテナンス部門、経理部門等

東京与論会が発足され96年目を迎えるに当り、先人達の血と汗と涙が礎となり今があることを肝に銘じ、与論会並びに郷土与論の発展のために、頑張る所存です。そのために弊社は与論工場を建設しました。今後郷土発展に微力ながら寄与できますよう、各企業様の更なるご協力、ご支援を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。



弘進化工株式会社

代表取締役 林 達 雄 (那間出身)

代表取締役 林 一 男 (那間出身)

プラスチック・各種製造加工販売

■ 本社 〒105-0013 東京都台東区三筋 2-10-14

TEL : 03-3864-6725 (代) FAX : 03-3864-8025

■ 草加工場 〒340-0043 埼玉県草加市草加 2-9-5

TEL : 048-944-2931 FAX : 048-944-2603



AV 環境のトータルプランナー

株式会社 **サンケンシステム**



代表取締役
会長

山下 清男美
Yamashita Kiyoomi

【営業品目】

- ◆ AV システムインテグレーション及びコンサルタント業務
- ◆ AV/IT に関するハードウェア、ソフトウェア開発・販売
- ◆ 自動車教習機材設計・製作・販売
- ◆ 特注筐体（各種架台、操作卓）等、設計・製作・試作・販売
- ◆ 各種電動機構（吊物、昇降機）等、設計・製作・販売
- ◆ 各種舞台設備（吊物、幕、照明）等、設計・製作・販売
- ◆ 上記設備に関する施工現場マネジメント及び施工業務
- ◆ 上記設備に関する保守・メンテナンス業務

【営業拠点】

本社
〒144-0052 東京都大田区蒲田4-33-5
TEL:03-3737-1401
FAX:03-3737-1403

北海道支店
((株) 学研教育みらい北海道地区代理店)
〒064-0916
北海道札幌市中央区南十六条西7-2-20
トーコービル2F
TEL:011-562-0302 FAX:011-520-8221

Audio、Visual & Control に興味ある人材求む。

NTS 総合税理士法人

総轄代表社員
公認会計士／税理士
千代ノ皇王代仁後援会長

吉 井 清 信

千代ノ皇王代仁 後援会 新規入会募集中！

9月場所 東十両7枚目

〒100-0005 東京都千代田区丸の内2丁目3番2号 郵船ビル701

TEL : 03-6212-2330 FAX : 03-6212-2331

mail : yoshii@nts-scgr.jp http://nts-zei.jp/

有限会社マルトモ商店

代表取締役 本 畑 義 夫

〒245-0012 横浜市泉区中田北 1-5-18
TEL : 045-802-9285 FAX : 045-801-0610

金物のスーパー

建築金物、電動工具、作業工具、大工道具、
家庭金物、雑貨、他

アガサ土木工業株式会社

代表取締役 前 田 文 男

〒121-0824 東京都足立区西伊興 2-8-16
携帯 : 090-3203-1587 FAX : 03-3857-0885
E-mail:pana.uru.oukoku.hokui27@dokomo.ne.jp

FT
AE
XL

00
33
53
99
55
94
82
77
65
61

東京都豊島区南長崎 1-24-12
〒171-0052

ふろんの里

北 琉 球 料 理

福納税理士事務所

税理士 福 納 敏 郎

〒254-0047 平塚市追分 4-7
サンレイドル湘南平塚 208
TEL : 0463-36-1513 FAX : 0463-36-1613
携帯電話 : 090-3901-0058
E-mail:toshi-huku@ma.scn-net.ne.jp

按司根津栄神社

与論町朝戸

会員のつどいに多くの広告をいた
だきまして有難うございました。

第96期

東京与論会会員のつどい



南の島の贈り物。与論島から。

有村酒造株式会社

鹿児島県大島郡与論町茶花 226 番地 1
TEL0997-97-2302/FAX0997-97-2021



未成年の飲酒や飲酒運転は法律で禁止されています。妊娠中や授乳期の飲酒は控えましょう。

与論音頭

作詞 内 与詩守
作曲 益田 元甫

一、ワーチヤが与論で見せたいものは

花と珊瑚と白浜と

誠いちずの 誠いちずの きれいな心 ソレ

* さつなだんと トントンとドントンと

与論音頭でひと踊り

二、夢が行き交い 望みがひろく

みなと港の 繁盛に

与論いいなど 与論いいなど カメモも歌う ソレ

(* 印くりかえし)

三、与論献捧 大杯まわし

誠打ちじゃち ひび寄せて

ともに語ろう ともに語ろう この喜びを ソレ

(* 印くりかえし)

四、心やさしく 働き者で

つむぎ姿も 美しい

ほれてみるなら ほれてみるなら 与論の娘 ソレ

(* 印くりかえし)

五、無事な暮らしを みんなで祈り

城やしるで そでぶねば

月も空から 月も空から にっしりのそへん

(* 印くりかえし)



竹内 千津子



1



2



3

振付・表現 竹内 千津子

*この踊りは手首をつかい、あまり形にはまらず、自由にのびのび踊ってください。

舞台では前に出たり下がったり、自分の周りを回ったりできますが、ここでは盆踊り用として前進のみで解説します。

前進方向に反時計回り。

●前奏(八呼間)聞きます。

(二十四呼間)歩きながら手は肩の高さ、ひじをのびし①でたたき、②で手のひら上にして開く。(写真一図)交互にしながら輪をつくる。

(1)ワーチヤが与論で見せたいものは

(八呼間)

①で右足をななめ前に一歩だすと同時に手は(写真二図)のようにななめ上まですくい上げる。②で左足つま先を右足かかとにチョンとつけると同時に顔をなでるようにして手首から内まきにして手のひら外向きにします。(写真三図)交互に四回



(2)花とサンゴと白浜と(八呼間)
 足は(1)と同じようにして、手は①で右手のひら上向き、右耳近くまですくい上げ、首をかしげ手のひらに耳をのせるようにし、左手は手のひら下向きで腰につけ②で足だけチョンとつける。
 (写真四図) 交互にくり返す。



(3)誠いちずの誠いちずのきれいな心
 ソレ(十八呼間)
 足は右足より①②と二歩前進、三歩目で右足を強く踏み、③④と左足かかとを内側にして上げる。
 手は両手左下方より右まわしにして手首をおって頭上で半円をつくる。
 (写真五図) 交互に四回。



さつと両手をおろし、かるくひざをたたく。(写真六図)
 「ソレ」で両手を左横に反動をつけふり上げ、次の動作の準備にとりかか



(4)さつさドドンと ドドンとドンと
 ドンと与論音頭で(十二呼間)
 足は右足かかとで①で反動をつけ、ゆかたたき(かかとは少し上がっている)②で上がったかかとをおろす。
 手は両手こぶしをにぎり、左手ひじをまげ胸前、右手は右横にふり上げる。
 (反動をつける)首もかしげながら交互に六回(写真七図)
 注：自分の周りを回ってもよい。



(5)ひと踊り……
 ①②で右足前に踏みこみ、両手は肩の高さで手のひら下向きにして(写真八図)のようにして一文字に開く。(右足上がる)③④で上がった左足をおろし右足を左足にそろえると同時にうでを伸ばし、手をチョンとたたき。残りのリズムでチョンチョンがチョンと手をたたきます。
 ◎開いてチョンのチョンチョンがチョンとなります。
 ※以上(1)〜(5)の動作をくり返し踊ります。
 ※後奏で(1)の動作をゆっくりと右、左で決めます。

お名前

与論献捧一〇箇条

与論献捧は、お客様への感謝と心からの歓迎の気持ちを込めて、与論の誠の心を献上し、共に永遠の繁栄を祈念するものである。

第一条 与論献捧は、与論固有の献捧であり与論島の象徴（誠の心）である。

第二条 与論献捧は、全町民の真心を主賓に献上してから、関係者全員に施行する。

第三条 与論献捧は、適物適量を厳に一回だけ施行する。

第四条 与論献捧は、平等に施行し、何人たりともこれを断ることはできない。

第五条 与論献捧施行者は、主賓等の適量を誤ってはいけない。

第六条 与論献捧施行者は、施行前に趣旨等を口述し、味見をしてから施行する。

第七条 与論献捧受杯者は、献杯の前に自己紹介等スピーチをしてから受杯する。

第八条 与論献捧施行中は、何人たりとも離席せず私語を慎み、受杯者のスピーチを拝聴しなければならぬ。

第九条 与論献捧施行者は、献捧を終了したら速やかに主催者に報告しご苦労杯を受け、献捧の終了した旨を全員に報告しなければならぬ。

第十条 与論献捧施行者は、施行中の一切の権限と義務を負うものとする。

付則 この献捧は、永祿四年（一五六二）八月十五日（旧暦）から施行する。

メ モ 欄

◆◆◆◆ 東京与論会・東京沖洲会合同忘年会のご案内 ◆◆◆◆

日 時；平成30年12月9日（日） 13:00～15:00
場 所；神田「清瀧」 会 費；4,000円(男性)、3,000円(女性)
参加ご希望の方は受付にお申し出ください。

◆◆◆ 東京奄美会 平成31年新年賀詞交歓会のご案内 ◆◆◆

日 時；平成31年1月20日（日） 11:00～16:30
場 所；上野「精養軒」 会 費；8,000円(男性)、7,000円(女性)
当日の案内状ご希望の方は受付にお申し出ください。

本日はご来場ありがとうございました。

東京与論会役員一同